



今回のテーマは

豪雨のときBS放送の映りが悪くなるのはなぜ？

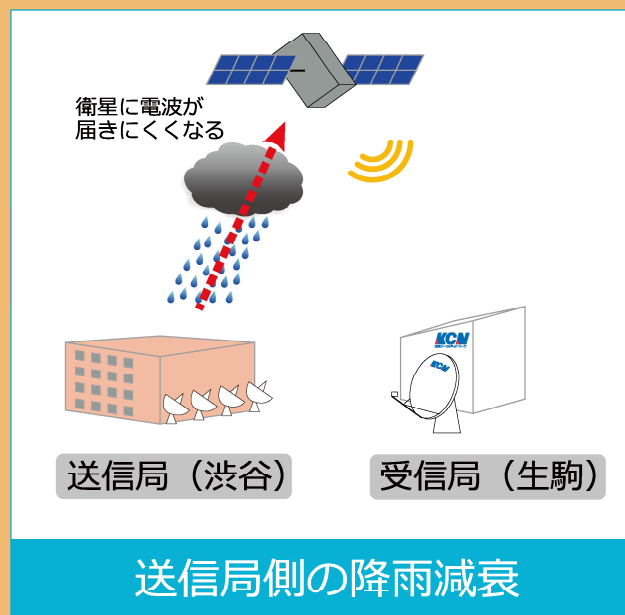
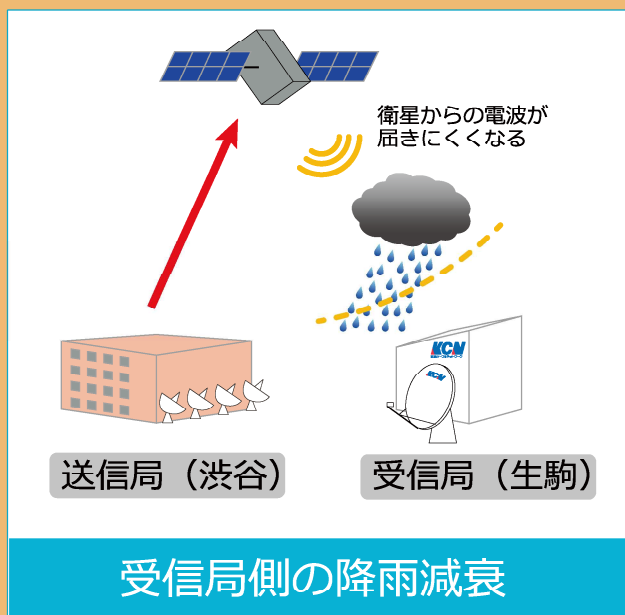
そもそも「BS放送」とは？

放送衛星(Broadcasting Satellites)を利用した放送で、一般的に「BS放送」と呼ばれています。BS放送のチャンネル数は38chあり、KCNのSTB(セットトップボックス)で視聴できるBSチャンネル数は15ch、4K対応のSTBではそれに加えてBS4Kチャンネルが6ch、視聴することができます。

※2019年9月現在

豪雨のとき映りが悪くなるのはなぜ？

BS放送の電波は、衛星との通信のため、受信局(KCN)または送信局(渋谷)が悪天候だった場合に、衛星とアンテナの間に雨や雨雲などがあると電波が減衰して(微弱になって)しまいます。これが原因で、映像や音声に乱れが起こることがあります。これを「降雨減衰」といいます。



降雨減衰の対策について

送信局側は「主局」の渋谷以外に「副局」(埼玉県久喜市)、「緊急局」(千葉県君津市)を設置し、雨などの影響がない局に切替し対応しています。また、受信局側であるKCNも、2016年までは本社がある生駒市でのみ受信していましたが、現在は「副局」を橿原市に設置しております。

降雨減衰が発生した場合には、「副局」に切り替えて受信しています。

しかし、両市が共に豪雨の場合は、天候が回復するのを待つこととなりますので、お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

